

平成 27 年 5 月 1 日

国土交通省中部地方整備局
豊橋河川事務所

矢作古川分派施設工事現場見学のお知らせ

陽春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

日頃は矢作川における河川事業の推進につきましてご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、標記工事につきまして昨年 4 月に着工以来、おかげをもちまして無事故で進捗しています。

そこで、本年 2 月から工事現場の月 1 回一般公開の他、随時団体見学も開催し好評をいただいておりますが、6 月から主要施設であるオリフィス分派施設（工事完成後の常時通水施設）が概成し、立ち入り見学が可能となります。また、固定堰型分派施設工事（超過洪水用）も見ることができますので、改めて見学のご案内をさせていただきます。

なお、別紙お知らせは下記の矢作川流域内記者クラブ様の他、学校、地元、建設業界などにも適時、広く送付させていただいております。また、毎月、工事状況とともに当事務所ホームページでもお知らせします。

豊田市市政記者クラブ
豊田市市政記者東クラブ
岡崎市政記者会
岡崎新聞記者会
西尾市政記者クラブ

矢作古川分派施設工事現場見学のご案内

国土交通省中部地方整備局

豊橋河川事務所

下記工事現場の一般向け見学会実施についてご案内します

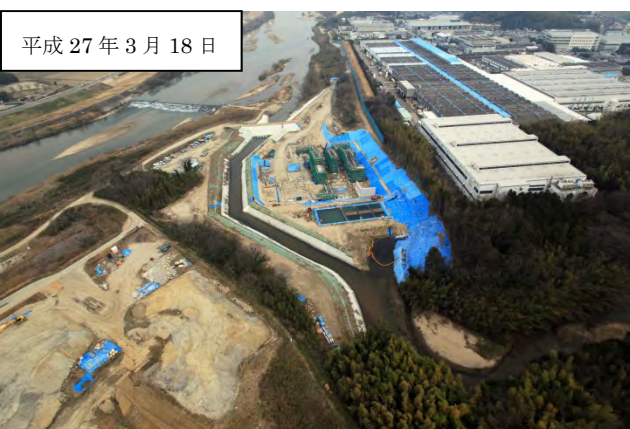
1. 工事名 平成25年度矢作古川分派施設工事
2. 工期 平成26年2月15日から平成28年2月24日まで
3. 工事内容 別添パンフレットをごらんください
4. **見学会実施方法**
 - ①実施日時 平成27年2月から平成28年2月までの第1土曜日(11:00~12:00、14:00~15:00の2回)。ただし、天候、工事状況などにより中止する場合があります。その場合は、ホームページに掲載するとともに申込み済みの方にご連絡します。
※上記以外の見学希望は随時ご相談ください。
なお、見学は1時間程度で終了しますが西尾市観光協会ホームページ(<http://www.240kanko.com/>)で当日のイベントなどが確認できます。合わせてお楽しみください。
 - ②集合場所、受付開始時刻 裏面参照
 - ③見学内容 分派施設工事状況
 - ④見学者持ち物 ヘルメットは受付で用意しますが、汚れても良い靴、服装などをお願いします。工事現場のため車椅子、松葉杖など歩行補助具の利用はできません
 - ⑤一般見学1回当たり募集人数 10名(1日最大20名)
5. **申込み方法**
 - ①申込み締切 毎月の実施日の5日前まで
 - ②募集人数に達した場合は見学をお断りする場合があります
 - ③申込先 以下の内容を電子メールまたはFAXでお知らせください(データは見学会終了後全て破棄し、他の目的に使用することはありません。ただし、見学実施の記録のため写真撮影を行うことをご承知ください)
 - ・タイトル 「古川分派工事見学申込み」
 - ・参加希望日、時刻
 - ・参加者全員のお名前
 - ・代表者の方の連絡先メールアドレス、電話番号メール toyohashi@cbr.mlit.go.jp
FAX 0532-48-8129
6. 問い合わせ先
メール toyohashi@cbr.mlit.go.jp

FAX 0532-48-8129 電話 0532-48-8103

担当者（工務課）：山本、中戸

集合場所

下記の場所で見学開始時刻の30分前から受け付けます。受付終了後、現場へご案内します。
愛知県西尾市志貴野町出崎（堤防からの坂路を下りた矢作川河川敷）

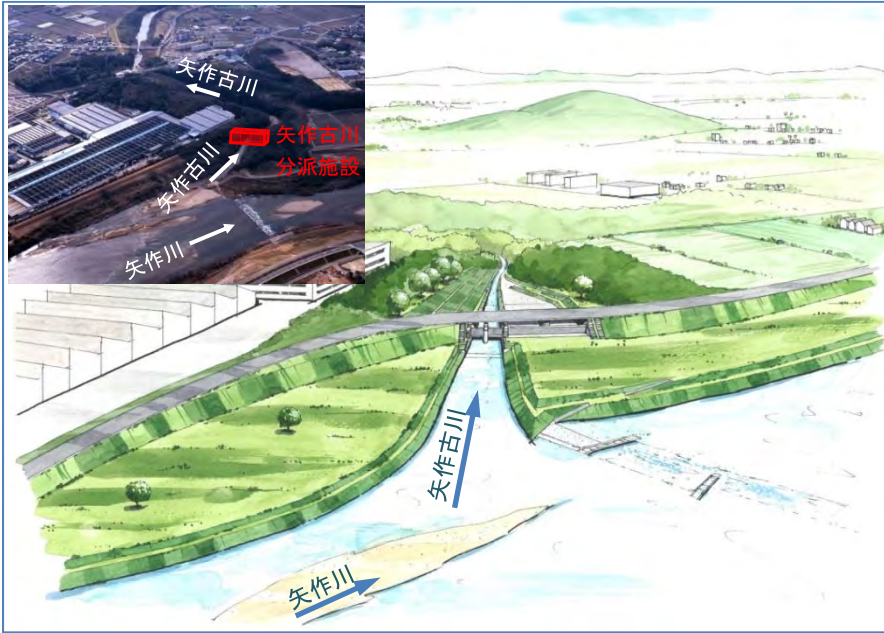


矢作川と矢作古川が適正に分流される施設を建設しています！

「平成12年9月東海豪雨」及び「平成20年8月末豪雨」により、矢作川支川の矢作古川流域において、大規模な浸水被害が発生しました。このため、矢作川が洪水の際に、矢作古川への適正な分派（計画分派量200m³/s）となるよう、施設を整備します。これにより、愛知県が実施している床上対策特別緊急事業と相まって、この地域の治水安全度が格段に向上します。

分派施設は平成27年度中の完成を目標として、現在工事を進めています。

矢作古川上流からみた分派施設の完成イメージ



現場技術者の声

私は現場で入社1年目の女性技術者として、矢作古川分派施設工事の安全管理・品質管理・環境管理に携わっています。

男性技術者よりも体力面では劣ってしまってもありますが、細かな部分への気配りができることが長所だと思います。

毎日体を動かして大変なこともありますが、日々変わっていく現場を見ているのがとても楽しく、素晴らしいと感じます。

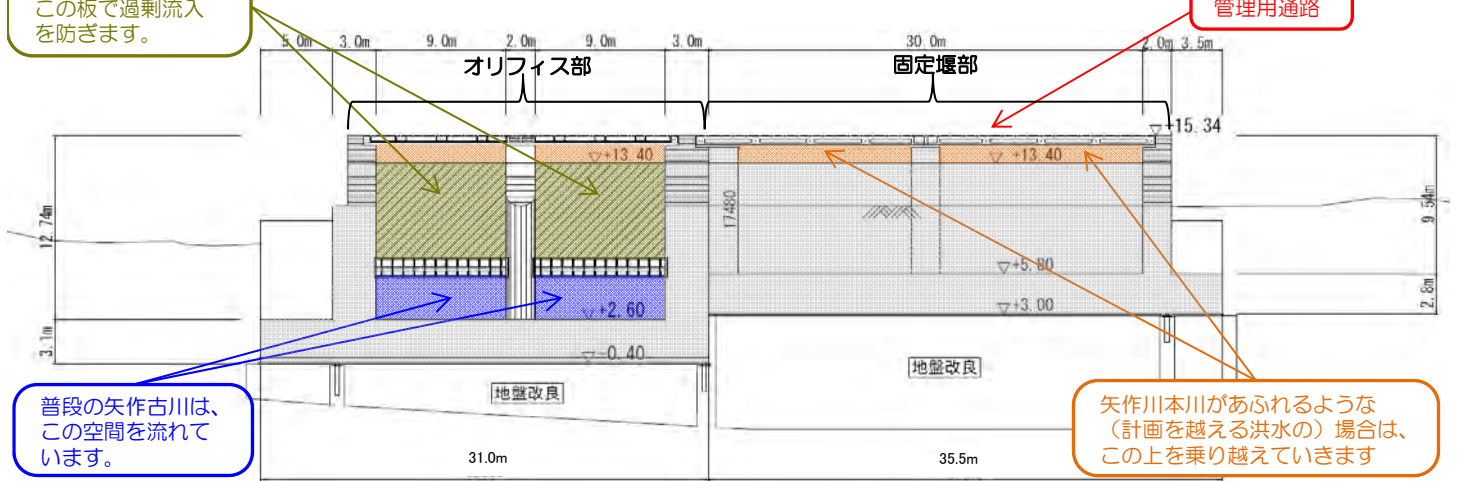
これからも明るさと元気を生かして竣工に向けて日々奮闘していきます。

大成建設株式会社 山田



いざという時は、この板で過剰流入を防ぎます。

正面図（矢作川本川から矢作古川を見た場合）



普段の矢作古川は、この空間を流れています。

矢作川本川があふれるような（計画を越える洪水）場合は、この上を乗り越えていきます

出水時には分派量を200m³/sに抑制することができるオフィス形式を採用しています。
（オフィス形式：水路等に向けた開口部から水を放出する方法で、開口部の大きさで流出量の調整が可能）

■施工フロー



矢作古川分派施設の施工の変遷

H23.1時点（分派施設着工前）



H26.7時点（分派施設本体内基礎地盤整正）



H26.9時点（分派施設本体内地盤改良）

囲みの部分が回転して地盤内に入し、固化材料と地盤の土を攪拌して 強固な支持地盤を形成します。



H27.1時点（鉄筋組立）



H27.3時点（オフィス部構築中）

